

意匠設計担当紹介

建築設計部 次長

豊岡 智

今月の特集「本誓寺庫裡」の意匠設計を担当させて頂いた豊岡です。
 入社 24 年目を迎えて数少ない寺社建築を担当させて頂き感謝しております。寺社建築は宗派によって迦藍配置が多少変わりますが、日本の文化の伝承の場として御先祖様から継承されて来た施設です。この度ご住職とお話させて頂き日本人のお寺離れが問題となっていると聞き自分も考えさせられる今日です。ご住職はいかに多くの壇家とかかわり、話し、継続伝承していくか難しい問題と取り組んでいます。私たちが建築に携わる環境も多くの問題を抱えています、建築文化の継続伝承に努力し勤めてまいります。



木造建築作品 Wooden architecture work

◆バックナンバーをお届け致します。ご希望の方は、本社または最寄りの支社までご連絡下さい。



2005 3月号
宮城県津山町立つやま幼稚園



2005 5月号
大迫町役場新庁舎
岩手県二戸地区合同庁舎



2005 12月号
栗原市栗駒総合支所

KUJI ARCHITECTS NETWORK

本 社	岩手県盛岡市紺屋町3-11 TEL. 019-624-2020 FAX. 019-622-7720 [岩手県知事登録(け)第5号] (社)岩手県建築士事務所協会会員	仙台支社	宮城県仙台市青葉区八幡 5-3-11 久慈設計仙台ビル TEL. 022-727-8780 FAX. 022-727-8781 [宮城県知事登録第02510044号] (社)宮城県建築士事務所協会会員
一 関 支 社	岩手県一関市地主町6-1 TEL. 0191-26-2006 FAX. 0191-23-7550 [岩手県知事登録第1657号]	青 森 支 社	青森県青森市花園2-44-5 カーサ・ディ・ゾーレA号 TEL. 017-765-4767 FAX. 017-765-4768 [青森県知事登録第1383号]
宮 古 支 社	岩手県宮古市新町1-2 TEL. 0193-71-1380 FAX. 0193-71-1381 [岩手県知事登録第1651号]	秋 田 支 社	秋田県秋田市保戸野千代田町9-43 保戸野パークビル1階 TEL. 018-867-8778 FAX. 018-867-8777 [秋田県知事登録第05-04A-0567号]
東京事務所	東京都江東区木場5-11-15 第2新倉ビル103 TEL. 03-5646-7870 FAX. 03-5646-7871		

(社)公共建築協会会員 (社)日本建築家協会会員 (社)日本建築積算協会会員 (社)日本建築士事務所協会会員
 (社)日本医療福祉建築協会会員 (社)日本建築士会連合会会員 (社)日本コンストラクション・マネジメント協会会員

Tomorrow

[トゥモロー]

未来のために、今できること。

8 AUG
月号

2006

【特集】

木造建築作品特集 本誓寺庫裡



KUJI ARCHITECTS STUDIO
株式会社 久慈設計



ISO 9001
BCI-OS-0120



国際品質保証規格 ISO9001認証企業



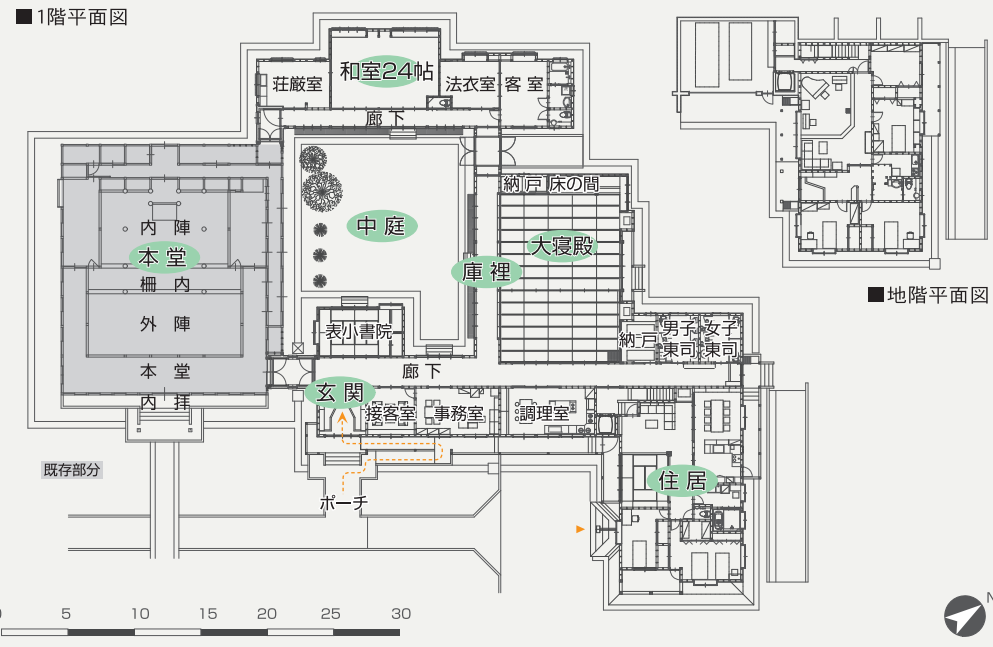
本誓寺庫裡

施工地／岩手県紫波郡紫波町
二日町字北七久保
竣工年月日／平成18年4月
敷地面積／2,896.21㎡
構造／木造地上1階地下1階
延床面積／827.97㎡

伝統文化の継承と壇家の創意を充分に取り入れたお寺

紫波町本誓寺は天正12年(1584年)に建築された伝統ある古寺で、今回改築される庫裡は昭和32年に建築された建物です。しかし傾斜地に建設した為、床は傾き、屋根は本堂からの雪の重みで小屋組が波をうつ状態で、毎年修繕費がかかる状態でした。今回改築にあたり、3年間ご住職が壇家の皆様と話し合いを重ねることにより生まれた創意を基に、充分にユニバーサルデザインを取り入れ、多くの壇家が庫裡内部施設をご利用しご住職と世代の融和が図れる施設作りに努めました。

平面図 a plan



様々なシーンで快適な空間創り

真宗大谷派(東本願寺)の迦藍配置を基本にご住職家族と充分に話し合いを重ね計画しました。玄関、ポーチは車いすでも利用できるスロープを設置し高齢者の利用に配慮しました。事務室は山門又は駐車場が一望でき、お墓参りに来た檀家さんと何時でも対話の出来る様な仕上がりました。また大寝殿は本堂からの日影を考慮し中庭を広く取り、日照と通風を確保しました。調理室は大寝殿脇に配置し法事会場への動線を近くしました。また普段地域の方が料理教室の場としてご利用される際も快適にお使いになれるような設備環境となっております。荘厳室についても、毎日本堂の花を生けやすくする為に本堂裏面に配置するなど、様々なシーンで快適に過ごしていただける空間を目指しました。

シンプルな外観と機能的な特徴

本来、寺社建築の特徴として屋根のデザインを重要視して計画を進める予定でしたが、ご住職との話し合いの際、「屋根に予算をかけるよりもランニングコスト削減に予算をかけたい」という申し出で、外観はシンプルに、しかし軒の出だけは充分にとり外壁の長寿命化を図りました。また施設の主なランニングコスト削減に努めるための計画として、大屋根の雨水利用で男女東司(WC)の排水に使用し水道料金の削減、太陽熱利用で温水タンクにお湯を貯めて給湯ボイラーの運転軽減による灯油代の削減、地中熱利用による住宅部分の全館床暖房床暖ボイラーの運転軽減による灯油代の削減、地中熱循環方式による外部通路の除雪システム(自然エネルギー利用)などをとり入れ、環境への配慮と同時に、壇家さんへの負担軽減へもつなげることができました。



スロープ付き玄関



和室24帖



調理室



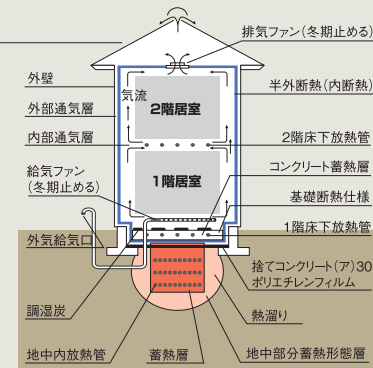
大寝殿

地中熱利用システム概要図

【外気給気口利用】夏期外気給気口から給気、排気のセットファンを利用
朝方の冷風を取り入れながら壁の中の構造体を換気し、劣化への軽減となります。またその効果は冷房の補助ともなる。

【地中内放熱管利用】夏期駐車場路盤埋設放熱管と、単独循環ポンプで熱交換
路盤の温度を下げると共に、冬期ロードヒーティング用の熱を蓄熱する。

【地中内放熱管利用】上段放熱管は夏期住宅内の放熱管と単独循環ポンプで熱交換
住宅内の温度を下げ冷房の補助となり、住宅内の太陽熱を地中で放熱、蓄熱冬期暖房の補助とする。



中庭2(太陽熱利用システム)



中庭1